

中学校部活動の今後

- ・文科省はR5(2023年)より、土日の部活動指導を学校教職員が行わないことを全国展開していくことを公表した。
※部活動(スポーツ・文化活動)は先生が行うべき業務ではない
- ・大分県は将来的には地域部活動へ移行していく方向性を打ち出している。

(2021年より2年間の事業) ※2022年4月より完全移行

朝地中学校 → 朝地フレンズクラブ

野津原中学校 → 七瀬の里Nクラブ (週3日)

NPO法人七瀬の里Nクラブ 理事長
株式会社大分Bリングス 代表取締役
大分七瀬ボーイズ GM



【大分市宇曾山荘指定管理】宿泊・合宿・テニスコート貸出
大分県大分市大字野津原397番地 Nスポートランド内
事務局：TEL&FAX： 携帯電話：
E-mail : HP :

学校部活動が及ぼすスポーツ界への影響

学校部活動の課題

1. 中学生世代の指導者問題 → 教職員増は不可能である
(教職員の労働時間の問題) 専門的部活指導員増(財政課題、不安定) → 指導者不足
2. 少子化による集団的スポーツの廃部 → 合同部活動の限界
(学校単位での活動が限界) 廃部が増加、優秀選手の消滅
↓
(近年の傾向) 民間クラブチーム(営利志向)への入会
(高額会費、営利、教育的観点からの指導が難しい)
↓
公的スポーツクラブの創設が必要(総合型地域スポーツクラブ認証制)
しかし
3. 部活動(無償=教員の犠牲)の存在が地域スポーツの発展を阻害している
小中学校スポーツ(Jrスポーツ)界の悪循環

学校部活動から地域部活動へ

学校部活動の長所

- ・指導者の確保(職務)
- ・教育的指導の保障
- ・受益者負担 少
- ・放課後、移動無し
- ・加入者が多い
- ・生徒指導 効果大
- ・施設有り
- ・公的補助有り

目指す地域部活動

- ・指導者の資格制度
- ・団体の公的登録、認証制度
- ・受益者負担 月3000円
(公的補助制度の充実)
- ・エンジョイコース有り
- ・競技志向コース有り
- ・学校側の加入促進
- ・施設の17時以降は地域管理
- ・事務局の設置
(クラブマネジャーの配置)



地域スポーツクラブの長所

- ・経営の長期的運営
- ・スポーツ経営のマネジメント
- ・指導者の専門性 高い
- ・指導者の継続性
- ・エンジョイコース 有り
- ・競技志向コース 有り
- ・受益者負担の定着



地域部活動の課題

◎指導者の確保と育成（現状 部活動数 1000部）

1000人の指導者の確保

現状の教職員の30%（約300名）引き続き指導

指導者700名が不足する。指導者養成が喫緊の課題！

◎統括団体及び地域単位の団体の設立

各地域での組織づくりの推進役、設立後の指導的立場

指導者の育成、各地域団体への仲介

◎施設の確保

学校体育施設の優先利用

（16時より地域部活動の団体が管理調整役）

部活動の経済的影響

◎全国、部活動加入生徒 約200万人
(部活動の会費を月額 3000円にした場合)

$$200\text{万人} \times 3000\text{円} = 60\text{億円}$$

年間720億円の会費が生まれる。

※大分県の場合 2万人 × 36,000円 = 年間7億円

◎大分県中学校数80校にクラブを創設した場合

1校約875万円の会費収入(2,5人の指導者の雇用)

※会費負担が厳しい家庭は就学援助の制度を適用

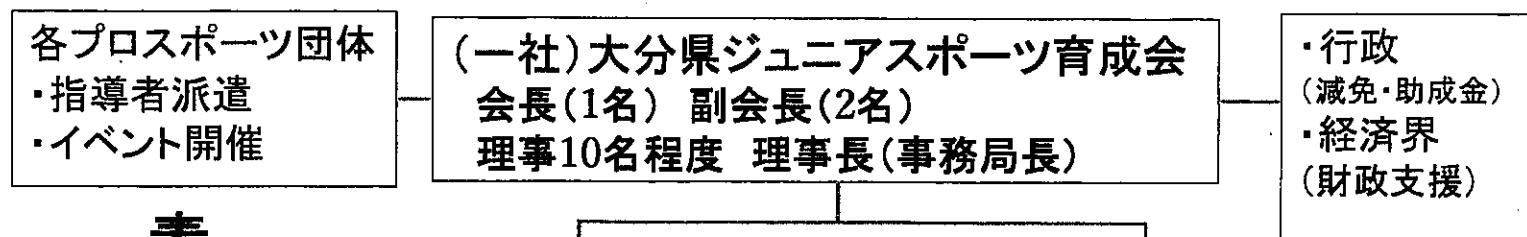
(将来のシステム案)

○○地区中学生スポーツ文化振興会

○○中学校 校長、教諭代表	—	文化振興会	○○地区中学生スポーツ	○○地区中学生代表
△△中学校 校長、教諭代表	—	○○地区中学生スポーツ	○○地区総合型地域 スポーツクラブ会長	○○地区総合型地域 スポーツクラブマネジャー
○○中学校教諭 バスケットボール指導者	—	○○地区中学生スポーツ	○○地区総合型地域 スポーツクラブ指導者	○○地区中学生代表
△△中学校教諭 バレーボール指導者	—	○○地区中学生スポーツ	○○地区中学生代表	○○地区中学生代表
県、市、企業からの支援金				会費(月額 3000円程度)
				スポーツ・文化サークル活動 地域内生徒が対象

現在の課外（放課後）における中学生のスポーツ・文化活動を学校教育活動の枠外に出し、生涯学習活動の位置づけで公と民の関りで育て運営していく「仕組みづくり」。

大分県ジュニアスポーツの統括組織の設立



青少年クラブの指導的存在

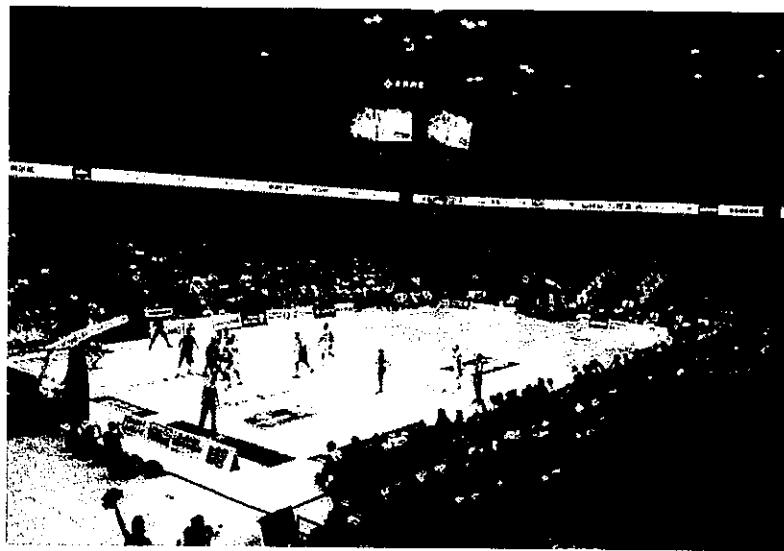
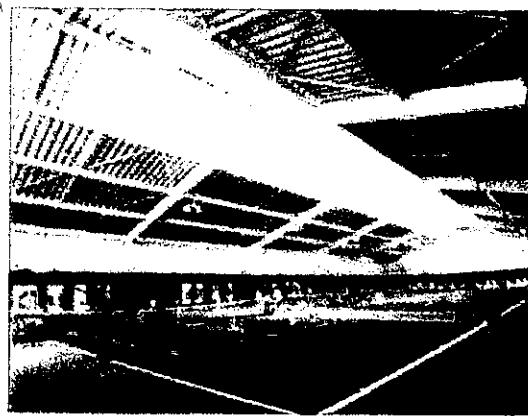
青少年クラブを各地に設立

[各地域スポーツクラブ] 県内50クラブの設立
県内(中学生500名～1000名在住程度のエリアに1クラブ)
・小学生、中学生が会員
・小学3年生まで総合的スポーツ、野外活動(運動の楽しさ体得)
・小学4年生から種目(専門的競技へ)
・競技志向、レクレーション志向など多様性の確保

指導者の育成と仲介、指導者研修の支援



ソラ・ラ・ラ・ラ・ラ



- ・キッズスポーツの入口、ジュニアスポーツの聖地、拠点としての役割
- ・成人、高齢者の健康づくりの拠点としての役割
- ・花公園、スポーツパークに県内外から人が集い地域活性化としての役割
- ・野球、バスケットボールのプロスポーツの本拠地